

基本施策 G 3 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります

主管課：スポーツ振興課

個別施策

- G3-1 スポーツ・レクリエーションを普及促進します
- G3-2 競技スポーツを強化します

ア 施策の目的

市民が、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ・レクリエーションに親しんでいる。

イ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2
運動・スポーツ実施率（週に1回以上実施）	37.6% (26年度)	↑ 目標値	46.7	51.3	55.9	60.4	65.0
		実績値	37.4	34.7	36.2		
		達成率	80.1%	67.6%	64.8%		
市営スポーツ施設の利用者数	2,583,480人 (26年度)	↑ 目標値	2,672,000	2,717,000	2,763,000	2,810,000	2,860,000
		実績値	2,636,866	2,519,983	2,602,788		
		達成率	98.7%	92.7%	94.2%		

ウ 審議会における施策推進に向けた提案

- スポーツに関する広報が弱い。市全体でスポーツを応援しようという動きをするためにはパフォーマンスが必要ではないか。
- 長崎にV・ファーレンのスタジアムが出来ることが、その関連施設を平地が無いという理由で取れないのは残念。相手方と話して、ニーズを把握して代替でも取れないか交渉すべきではないか。
- 本施策の最終目標はスポーツに参加して実施することではなく、スポーツをすることで健康な生活がおくれる等のことではないかと思う。
- 長崎はアジアの国から近いため、良いスポーツ施設があれば国外からでも大会を誘致可能である。そのためには第1種公認の施設を持つべき。
- 市内のスポーツ施設を実際管理していると思われるのは各地域整備課や指定管理者であると認識している。施設管理については専門性があるが、スポーツに関しては素人の方と思われる。スポーツ振興課はスポーツのプロとして、直接管理をする人たちを指導すべき。
- オリンピックの広報について、もっと市として取り組んで行っていいのではないか。
- 「スポーツに親しんでいる」とはどういう意味なのか、今一度考えて何か取り組んでいくとよいのではないか。

エ 次期総合計画の策定に向けた意見

- 成果指標の「運動・スポーツの実施率」について国の計画に合わせて立てていることだが、今までどおりの取組みをしても達成は困難と思われる。次期総合計画では成果指標は再検討すべきではないか。
- 成果指標として、医療の面でデータをとって、スポーツをすることで、各世代の生活（健康状態）がどう変わったかを数値で表してはどうか。